

各位

薫風の候、新型コロナウイルス感染症に関する情報に落ち着かない日々をお過ごしのことかと存じます。平素より当院の運営に対してご高配を賜り感謝申し上げます。

さて、津山中央病院整形外科におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡散においてエアロゾルを生じる手術や処置が高リスクであることに加え、今日の手術防護具等の著しい不足に鑑みて、日本整形外科学会の指針に基づき、すでに手術制限を開始しております。

ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

＜新型コロナウイルス（COVID-19）流行による整形外科領域の手術制限について＞
日本整形外科学会から提示された、治療の優先度決定・選別の参考指針の一例

延期すべき	外来手術 生命を脅かすことがない。	手根管開放術 関節鏡手術 など
延期を検討する	生命を脅かすことはないが 将来的には病的状態や 死亡率に影響する。	人工関節置換術 待機できる脊椎手術 など
延期すべきでない	早期治療を要する。	脊髄・神経麻痺 外傷・開放骨折 悪性腫瘍 など

緊急性の高い外傷（主には四肢骨折）や神経麻痺を伴うあるいは起こしうる脊椎脊髄疾患のほとんどは、議論の余地はありません。

上記項目の延期すべきあるいは検討する例の中でも、日常生活に支障を来たす場合（機能障害を来たしている。歩行困難である。あるいは痛みが強い状態など）は、主治医の判断で、比較的早期の手術的治療を考慮致します。

令和2年5月12日

津山中央病院 整形外科